

遠隔支援システムを使った障害児への 情報保障の研修及び実践

認定特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター
〒399-0736 長野県塩尻市大門一番町 3-4 2階

助成事業の概要

・パソコン要約筆記者がいない、または不足している地区において、親の会の企画を元に、支援者講師、当事者講師を派遣し、各地域で遠隔支援システムを聴覚障害児の授業支援に活用してもらえ体制づくり

<講習会開催場所>

長野県長野市、山梨県甲府市、熊本県、長野県佐久市、兵庫県明石市

<遠隔支援システムを使った通訳体験実施場所>

長野県塩尻市（年金教室）、岐阜県羽島市（授業）、愛知県豊田市（授業）、長野県長野市（美術鑑賞会）、長野県松本市（遠隔教育支援）、秋田県秋田市（講話会）兵庫県明石市

<当事者による相談・講演>

全国人権・同和教育研究大会発表、難聴児保護者からの相談対応、聴覚障害児教育専門家への聞き取り

事業の成果

■<講習会開催>

・長野県長野市・関西方面の支援者を新たに獲得することができた。
・関西チームが生まれ、つながりを確かなものとして、さらなる支援体制を整えることが期待できる。
・音声認識システム”UD トーク”、ゼミ形式授業支援システム“まあちゃん”など、現在開発の進

んでいる新しいシステムを多様な関係者と一緒に学ぶことができた。

・遠隔授業支援サービスから、遠隔診療支援サービス・遠隔授業サービスなどとの連携も実現した。
◎より多角的な聴覚障害学生支援を進める基盤を作ることが出来た。

= 「ヒト、モノ」の整備が実現

■<通訳体験>

・駿河甲府中学校、岐阜羽島市竹鼻中学校、豊田市立高嶺小学校、秋田御野場中学校といった学校に講演や通訳体験などに伺い、実際に遠隔支援システムを使った障害児への情報保障を体験していただいた。

→校長先生・教頭先生はじめ多様な先生方が「聴覚障害の生徒の支援」の実際を見ることで、「聴覚障害生徒への支援のあり方」に気付き、そこから「授業のあり方」にも広げて、考えてくださるようになった。（研究集会等でも発表して下さった先生も）

・その内、秋田県御野場中学校、岐阜県高山市教育委員会では、文字による遠隔支援サービスに予算化が実現した。

◎教育現場のあり方に一石を投じられたとともに、活動継続のための事業収入

= 「カネ」の確保にもつながった

■＜当事者による相談・講演＞

・はじめて聴覚障害についての理解を求めるような多様な分野に参加することができた。

◎これら広い広報チャンスをいただけたことで、新たに兵庫県、茨城県の保護者より支援依頼が生まれ、助成期間後の活動へつながりが生まれた。

【まとめ】助成期間中に、Facebook のフォロワー数が 600 から 700 を超えた。そのことが、よりインクルーシブな社会づくりの実現につながっていると実感できている。

支援学生にご協力いただき、全国の支援を求める聴覚障害児の支援活動に参加していただきながら、支援対象の児童を増やし、支援者・支援ボランティアを増やし、一人でも多くの聴覚障害児の授業支援を行っていく。

■成果の広報、公表

・助成期間中から、法人 Facebook、法人ブログにて、詳細な活動を公開。

・活動成果として、組織の基盤強化事業で取り入れ、h28 年度事業に活かしていく。

1. 啓発のための冊子・絵本等に取り入れ

2. 支援の普及を目指した広報用チラシ、団体紹介資料、クラウドファンディングサイトなどで活用。

認定 NPO 法人として、現在の支援者、共感者、そして新たな賛同を求め広げていく。

■今後の展開

・助成の成果で、秋田県秋田市御野場中学校、岐阜県高山市内の聴覚障害児が在籍する小中学校での支援から、助成期間終了後も、茨城県、兵庫県などから支援要請が続いている。

それらの支援を継続することで、成果をとりまとめ、新たに支援を求める聴覚障害のお子さんたちの支援の実現につなげていく。

・信州大学の障害学生支援センターと協力して、支援学生の養成事業に取り組むことが決定した。